

地域と共に歩む学校づくりが始まりました。



7月に入り湿度が高い日が続いていますが、子供たちは毎日元気いっぱいです。

4月に開校した「たむら支援学校」も地域の皆さんとのつながりがたくさんできてきました。児童生徒一人一人の夢の実現に向け、「地域の中で共に学び共に生きる」をスローガンに、地域にある様々な資源を活用させていただくとともに、地域の皆様とのつながりを大切にしていきたいと考えています。

☆ 運動会を応援に来ていただいた田村市長に中学部の生徒がお礼の手紙を届けたところその手紙が、田村市役所一階のフロアに掲示されました。

☆ 田村森林組合からは、端材をいただきました。これから、作業学習では、児童生徒の「できる力」を活かして、様々な木工製品作りに取り組みます。



☆ 旧春山小学校 PTA 会長の松本さんより、畑を貸していただきました。児童生徒が、土の感触を楽しむと共に、野菜を「育てる」「収穫する」楽しみを体験活動を通して学びたいと考えています。また、メダカとドジョウもいただき、毎日の観察を楽しみにしています。



☆ JA 福島さくら「ふあせるたむら」の店長から、畑の活動についてたくさんアドバイスをいただきました。

☆ 船引町更生保護女性会の皆さんが来校されて、児童生徒と一緒に朝の挨拶運動を行いました。



☆ 船引高等学校の生徒たちとの活動も始まりました。放課後の時間を活用した家庭クラブとのミサンガ作り、校庭での場を共有した部活動、また、合同避難訓練も行われました。



平成29年7月

～児童生徒一人一人の夢の実現をめざして～

福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子

